

巻 頭 言

GS News Technical Report の電子ジャーナル化に寄せて

日本電池株式会社 社長 村 上 農一郎



科学技術の進歩によって、情報化時代が到来し、人・物だけでなく技術分野においてもグローバル化が進んでいる。当社の創立者である島津源蔵が常日頃の研究開発成果を詳細に報告するために専門誌“GS News Technical Report”を発刊した。それは1927年(昭和2年)のことであり、この横文字は、戦時の英語使用禁止で日本語使用を強制された時代を除き、一貫して使用してきた。その理由は、創立者が世界を意識したからであると伝え聞いている。最近、電気化学会誌の“電気化学”が“Electrochemistry”に名称変更したことを思えば、大先達の先見性に感服せざるを得ない。その発刊の意図は、当社の製品に対する世界中の顧客からの信用を高められるように、その技術開発の努力の証拠と根源を専門誌によって明らかにすることであると高らかに謳われている。また、それによって、当社技術関係者の養成にも大きく寄与してきたことは疑いのない事実であると思う。すなわち、当社技術陣の育

ての親でもある。このGS News Technical Reportは、年2回、約2千の顧客・読者に印刷物として配布されており、その温かい支えもあって、高い評価を得てきているが、全世界の情報ネットワークが構築された現在の状況を考慮したとき、印刷物としての配布はグローバル化の時代にそぐわないことも否めない事実であった。そのために、GS News Technical Reportの配布先を有限から、無限に拡大するために、電子ジャーナル化して当社ホームページ上に掲載し、その内容を公開していきたいというのが社内的一致した要望でもあった。今回、それが実現することになり、大変うれしく思っている。このことは、先達の意図を継承・発展することであり、またそれが当社の使命であり、社会的責任を果たすことでもあると思う。

今回の電子ジャーナル発刊に際して、このGS News Technical Reportの一層の充実をはかり、全世界の顧客・読者の期待に添うよう努力していくことをお誓いする。皆様の一層のご理解とご支援、ご鞭撻をお願いしたい。“エネルギーをかたちに”をコーポレートメッセージとする当社を代表して、電子ジャーナル発刊の辞とする。